



ひろば

市公連だより

発行日 令和3年3月19日
発行所 福井市公民館連絡協議会

第
120
号

市公連・運審連合同の「市長と語る会」を開催

東安居公民館 館長(福井市公民館連絡協議会 副会長) 村上 勉

とき 令和2年10月9日(金) ところ アオッサ 参加者 38名(教育委員会5名、市公連22名、運審連11名)



コロナ対策をして開催された「市長と語る会」

市公連・運審連合同の「市長と語る会」が、コロナ感染予防のため参加人数を制限して開催されました。市公連からは①コロナ禍における公民館職員の避難所対応②これから先の都市計画と公民館の在り方③自治会加入促進について、運審連からは④新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷などへの対応⑤特殊詐欺の対応について東村市長に質問しました。



アクリル板越しに話す東村市長

東村市長は、市公連の質問に対して①コロナ禍において、3密にならないよう地震も水害の場合も一時的な避難場所は小学校体育館へと変更されたのに伴い、公民館職員の具体的対応はなくなるが、避難所開設までに公民館へ来る方がいることを想定し、各館での対応を考えておいてほしい②自然環境との調和を基本とした水と緑あふれる都市、ゆとりある都市、中心市街地と地域拠点が公共交通ネットワークにより有機的に結ばれた都市を、都市づくりの基本として事業展開をしている。これからも公民館がしっかりと活動していただき、地域の活性化に繋げ、今後も従来と変わらない形でと思っている③加入促進のために転入手続き窓口で、



市公連を代表して質問する
村上副会長



運審連を代表して質問する
歌門副会長

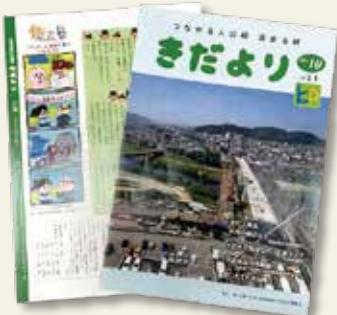
加入案内ちらしの配布や年度初めに自治会長に加入促進の取り組みなどを記載したハンドブックの配布などを行っている、などと回答しました。

運審連の質問には④市広報誌やホームページ、ケーブルテレビ、SNS等で誹謗中傷に対する注意・啓発を呼び掛けている⑤市消費者センターにおいて、新しい特殊詐欺の手口や対処法等の最新情報を、継続的に分かりやすく市民に提供していると、それぞれのテーマに具体的な回答をいただき、有意義な会となりました。

表彰

木田公民館の「きだより」が 全国公民館報コンクールで奨励賞を受賞

きだより編集委員長 田中 元彦



奨励賞を受賞した「きだより」10号

全国公民館連合会が実施している2020年度第8回全国公民館報コンクールで、木田公民館が発行している「きだより」が奨励賞を受賞しました。

「きだより」は地域に住んでいる子どもからお年寄りまですべての世代の人々が、生き生きと活動している様子や、読んでもすぐに役立つ情報・木田の歴史などを、丁寧な取材をもとに紹介していくことを基本にしています。

具体的には、①『きだ人発見』②『木田の昔ばなし』③『KIDA元気はつらつ生活マップ』④『木田地区の活動紹介』⑤『おしえて!木田博士』など5つのシリーズで紹介しています。

また、表紙には三世代が活動している写真を、裏表紙には明倫中学校美術部による4コマ漫画を掲載しています。

今回の受賞を機に、さらに地域の人々から待ち遠しいと思われる広報誌を目指します。

全国公民館報コンクール奨励賞の表彰状



コロナ禍での防災を学びました

とき 令和2年11月12日(木) ところ 豊公民館

足羽公民館 館長 宮原 義典

令和2年度の市公連・運審連合同あたごブロック研修会は、飛田幸平氏(福井市防災士の会事務局長、危機管理アドバイザー)を講師にお迎えして「コロナ禍での避難所のあり方と防災」をテーマにした研修会を開催しました。

飛田氏の防災のお話は、何度もお聞きしていますが、実際にユーモアにあふれ楽しいものです。今回も、防災知識に関する○×クイズから始まり、一般的な防災に対する日頃からの準備、心構えのほか、特にコロナ禍での避難所のあり方について重点的に講義していただきました。そして、実習として、参加者全員で避難所における段ボール間仕切りの組み立てや、代表者が防護服、フェイスシールドの着用をしました。座学のみではなく、実習を取り入れたことにより、「災害」というものが、より緊迫感をもって捉えることができました。

災害はいつ発生するのか分からないので、日頃からの備えが大切であることを再認識しました。

あたごブロック研修会の受講風景



防護服を着脱する訓練の様子



日本社会教育士会のキックオフ・フォーラムに参加して

清水東公民館 館長 鈴木 幹夫



令和2年7月に一般社団法人日本社会教育士会が発足しました。発足を記念して11月28日に開かれたキックオフ・フォーラムにスピーカーとして参加させていただきました。

1. 参加のきっかけ

私はこの夏、社会教育士の称号が付与される福井大学社会教育主事講習に参加しました。

その時に、社会教育士の広域ネットワークについて大変意義があると感じていたところ、福井大学の先生からキックオフ・フォーラムのスピーカーとしての参加を打診されました。そこですぐ参加を引き受けました。

2. スピーカーとしての感想

オンライン方式でしたが、日頃の思いを率直に語ることが出来たと思っています。特に公民館で活躍している主事職の活動と専門性を念頭にスピーチいたしました。全国の社会教育士が交流し、協働できることはこれから社会教育推進にとって、とても大きな力となるものと思いました。

3. 専門職を生かす

新型コロナのまん延は公民館に新たな活動の在り方が求められています。こうした状況変化に私は、地域住民とともにある公民館の在り方を今一度振り返り、社会教育士としての専門性を地域に生かしていきたいと望んでいます。

キックオフ・フォーラムをオンラインで受講して

中央公民館 主事 友田 晴美



キックオフ・フォーラムで、様々な立場で語られたスピーカーの皆さんのお夢や思いをお聞きして、必ずしも恵まれた環境ではない地域の中でありながらも、学びを活かして活動されている方々がおられることを知りました。力強いメッセージを受け、未来が広がっていくような思いを感じました。

福井工大のオンライン公開講座を開催

湊公民館 館長 千秋 英幸

オンラインによる福井工業大学の「未来塾FUT公開講座」が、11月28日(土)に湊公民館で開かれました。新型コロナウイルスの影響で対面式の公開講座の開催が難しくなったため、オンラインによる講座を実施することになり、その手始めとして湊公民館で開催されました。

「発酵食品を知ろう」と題した環境情報学部環境食品応用化学科の大能俊久准教授の公開講座に湊地区の10人が受講しました。福井工大の教室からweb会議システムで送信された大能准教授の講義が公民館の大型テレビに映し出され、ワインや清酒、醤油、へしこなどの発酵食品について1時間にわたり学びました。受講者は大能准教授の質問に答えたり、逆に質問するなどして、「withコロナ」時代の新しい講座スタイルを体験しました。



表彰

(敬称略)

令和2年度 全国公民館優良職員表彰

一乗公民館主事伊與まゆみ

令和2年度 東海北陸公民館大会表彰

国見公民館主事杉田美津代

令和2年度 全国公民館永年勤続職員表彰

宝永公民館館長塚谷直人

令和2年度 福井県公民館連合会表彰

順化公民館主事田中由衣

令和2年度 社会教育功労者表彰

市長表彰

清水東公民館館長	鈴木幹夫
湊公民館主事	平鍋清美
湊公民館主事	番重一美
湊公民館主事	佐々木英江 (R2.3.31)退職
東安居公民館主事	末廣崇子
啓蒙公民館主事	南部まゆみ

歴史や文化を未来へつなげていきたい

一乗公民館主事伊與まゆみ



この度は、このような栄誉ある表彰を受賞し、改めて身の引き締まる思いです。今年は、思い描いていた公民館活動が難しい状況でしたが、今後も地域の方々と地域づくりや生涯学習の活動を、縁の下の力持ちとして支えていたら幸いです。これからも歴史や文化を未来へつなげていきたいです。皆様、ぜひ一乗地区へお越し下さい。お待ちしています。

教育委員会表彰

森田公民館館長	柳原健一
鶴公民館館長	柄田定幸
啓蒙公民館主事	谷口さおり
河合公民館主事	藤田育代
明新公民館主事	出口理恵
中央公民館主事	田中晴美

地区の皆様、公民館主事に感謝します

宝永公民館館長塚谷直人



この度、このような表彰を受けることになり身に余る思いです。宝永公民館館長を平成17年に任命を受けて16年。館長の役職として何をやっていけばよいのか、これまでの諸先輩館長の職務を学び、そして生涯学習について学び、現在に至っています。これまで勤めてこれたのも運営委員会をはじめ地区の皆様、そして何より公民館主事の助けがあって務めてこれたものと思っています。いろんな意味で感謝いたしております。

福井市公民館研究集会のお知らせ

市公連研修委員会委員長 中村准

2月2日に予定していた福井市公民館研究集会は、研修委員会で準備を進めていましたが、コロナ感染拡大警報が解除されないため、中止することになりました。次年度秋に改めて平田オリザさんをお呼びして行う予定です。

令和3年度 市公連行事予定

館長会総会

- 期日：令和3年4月21日(水)13:00～13:45
- 会場：アオッサ6階601研修室

市公連総会

- 期日：令和3年4月21日(水)14:00～15:00
- 会場：アオッサ8階 県民ホール

東海北陸公民館大会 福井大会

- 期日：令和3年11月11日(木)・12日(金)
- 会場：福井フェニックスプラザ他

編集後記

この1年間、新型コロナウイルスとの格闘の日々でした。マスクの着用、手の消毒、検温…。これが日常化しました。オンラインによる交流も普及しましたが、公民館はみんなが集い、話し合い、趣味やスポーツを楽しむ場であると、改めて感じました。

今回で私の任期は終わりますが、編集委員の主事さん方のご協力のおかげで2年間務めることができました。みんなで一つの作品を創り上げていく喜びを実感した次第です。ありがとうございました。

(編集委員長 湊公民館 千秋 英幸)